




ほのぼの言語聴覚対談


～伝わる？伝わらない??～


言語聴覚士 竹田 秀男・猪本 麻美子


 今日は武蔵野陽和会病院の言語聴覚療法（ST）はこんな感じですよ～って、お話ししながら紹介しようと思います。言語聴覚士のお仕事とは…？


 簡単に説明すると、**食べること**「摂食嚥下障害」、**話すこと**「失語症、構音障害」、**考えること**「高次脳機能障害、認知症」の方の**リハビリ**ですね。

 なるほど。STは運動リハとは違って個室で行うから患者様と話す機会も多いよね。**どんなことを話してる？**


 私は思い出や趣味、日々の生活のアレコレ、ペット…などその方の**生活に関わること**をお話ししています。あとは**時事ネタも多い**です。政治もスポーツも勉強しておかないとついていけません。患者様に教えていただくことが多いです。


 そうだね。昭和一桁生まれの患者様方からは、**戦前、戦中の話しが聞いて興味深い**。経験談に圧倒されるよ。戦後世代の方だと**第一次安保、学生運動、三島由紀夫自決…**とかの話を聞いて「おお、ドキュメント昭和だ！」と思います。


 ちょっと言語リハしてないみたい(笑)。


 ギクッ。それは言わないで。でもね、**話すこと、話せることって大切**になって日々思う。急に真面目になるけれど…失語症の方のこと。名前や誕生日は何とか言える、トイレに行きたいって意思を伝える、文字や絵を指差して気持ちを伝えるなど、**生活する上で最低限の意思を伝えるのは必要なんだけど、言葉ってそれだけじゃない**よね。


 愚痴も冗談も世間話もみんな話したいはず。

 それまで、自分からは話せなかった患者さんが、ST室にお連れしたとき、何か話されて、ボソボソしてたり、言葉にならなくてよくわからないんだけども、よくよく聴いてみると、「**今日はいい天気ですね**」って…。ああそうかと思う。気の利いたことを言おうとか、上手く話そうとかね、そんなことはどうでもいいんだと。

 ほんのちょっとした挨拶言葉ですよ。いい天気ね、なんて。でも、**その一言が言えることって、すごいことなんだ!**と、思いますね。

 失語症の方とリハビリしてても伝えたいことをちゃんと汲み取れずに終わってしまうことも多い。そういう時は、療法士としての至らなさに悲しくなってしまうんだけど、それでも、働きかけることを諦めてはいけないわけじゃない。我々、関わる側は。で、思ったの。患者さんが困ってて、それが、**なんで困ってるのか分からなかったら、せめて一緒に困ろうと**。

 うんうん、**すごく共感**できます。

 そんな大層なものでもないかもしれないけど。それに、伝わらなくて、**イライラしたり怒ったりする表情も立派に意思伝達だよなあ、と**。

……ということで、シメの一句

**物言えず 君の伝える困り顔
汲めぬ わたしも困り顔**

 座布団一枚!!!

お後がよろしいようで♪

